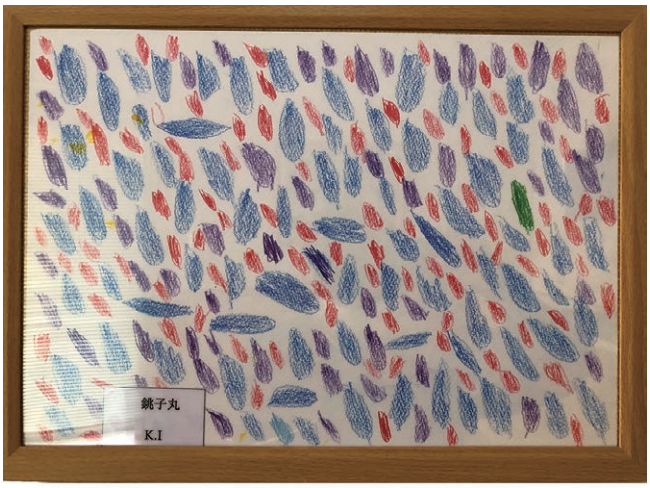
さざなみ

〈ミッション〉 私たちは、自閉症を中心とした知的障がい者の明るい未来を開くため、総力を上げて支援を行います。

〈ビジョン〉 豊かな自然の中で、社会に生きる障がい者の良きパートナー（隣人）として、利用者とともに歩み続けます。

いすみの画伯たち



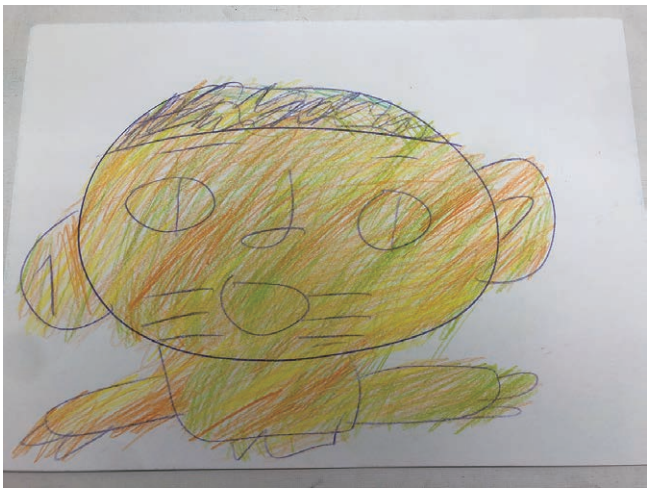
題名「銚子丸」　K.I 作

題名「元旦」　A.M 作

題名「いすみ鉄道」　N.N 作

題名「紅葉」　K.I 作

陶芸クラブ７名の作品



題名「お父さん」　S.N 作

新年度の指針

いすみ学園 施設長 堂下 勉

三年にわたり新型コロナ感染症防止の体験より得たものを、これからの日常生活の在り方に反映する一年としたい。基本的な感染症予防に努め、利用者とご家族の気持ちに寄り添った日々を取り戻す試みを続けていくことを新年度の目標に掲げております。いくつか紹介します。

・政府の方針にもある「ウィズコロナ」政策に沿って、季節ごとの学園行事の開催や面会日、一時帰宅、班別一泊旅行、地域交流など、本来の目的に向け進めていきます。

・生活環境の整備では、新たな第一歩を踏み出していくためにも再度検討会を開催して方向性を固めていきます。

・介護支援では、今後必要となる知見と技術の習得を課題として外部研修、職場内研修での情報共有に努めます。喀痰吸引研修終了者を一名確保し、看護師を含めて五名体制とします。

・グループホームさくらの家三十周年を契機として、地域生活者としての社会生活の回復を図ります。グループホームの利用者が男女ともに平均年齢が六十歳を超えました。

○利用者支援の柱

日中活動が挙げられます。作業班を中集団化したことで「高齢・虚弱者支援」、「通院支援」、「生産力の維持」に効果的です。商品研究では各作業班の特性をリンクする方向性を模索しているところです。また、クラブ活動での絵画や陶芸は、これからの日中活動も視野に入れ、高齢の方や微力な方でも仕事の喜びを感じられる日中活動の展開を目標としていきます。

○健康管理

通院支援の増加はコロナ禍であったにも関わらず前年度対比で、一三〇パーセント増の五一四件にのぼります。全ての医療機関が地域移行したこともあり日中活動(生活介護)を妨げることなく対処しています。今後も看護師中心に通院支援体制を維持していきます。

○防災対策（リスクマネジメント）

避難訓練では、「要介護状態の利用者」を安全に避難するためのリスクマネジメントを整理すること、職員数の少ない時間帯での避難に特化したマニュアルを共有する二項目を強化します。

○権利擁護

意思決定支援も含め、利用者の能力に適した援助を積み重ねています。職員には日常活動そのものが権利擁護に関わる大事な一瞬として意識させており、すでに各作業班の会議や支援会議、ケース会議等で検討が始まり、日常の関わりを大切にする姿勢を心掛けています。

他にも食事と睡眠、余暇支援など紹介したい内容もありますが、令和五年度の指針としてご報告といたします。

「支援もできる看護師」を目指して

看護師 鈴木恵美

いすみ学園に入職して、あっという間に二年が経ちました。始めは障がい者支援施設の経験がなかったため、知的障がい(自閉症)者・てんかんの看護等、分からないことも多く不安でした。

みなさんへの関わり方も心配でしたが、入職時に施設長から「支援もできる看護師を目指してください。」と言われ、生活支援職員と同じように利用者のみなさんと食事をしたり、ボーナス外出や季節の行事にも参加したり、万木班を中心に日中活動中の健康観察をすることで少しずつですが一人一人の性格や行動特性なども理解できることが多くなり、自然に緊張することも少なく関われるようになってきました。このころより知的障がい者という概念以上に豊かな個性の方たちで、私たちにはない魅力を感じるようにもなりました。コロナ禍で出来ていなかった行事も今年度からは再開予定なので、みなさんの新たな一面を発見できることも楽しみにしています。

利用者さんの高齢化が進み、健康管理がさらに重要になってきています。ストマ管理や経管栄養、喀痰吸引など医療ケアを必要とする方も増えてきていますが、三月から藤平NSも入職されたので協力しながら看護師としての専門的知識や経験を活かしたいと思います。また看護師だけでは出来ないことも多く、多職種で連携・協力し合いより良いケアにつなげていきます。

今でも関わり方や言葉かけなどで悩むこともありますが、日々の生活を共に過ごしながら利用者さんとのお付き合いを大切にして看護師としての専門性を活かした「支援もできる看護師」を目指したいと思います。

看護職の倫理要綱にあるように「人間の生命・人間としての尊厳及び権利を尊重する。対象となる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。」ことを大切に看護・支援を行っていきたいと思います。

新年度を迎えて各班から一言

【万木班】

ウォーキング・リズム体操などの運動と、織り物・刺繍・ちぎり絵・はがきづくりなどの手芸を中心に活動しいる万木班は、いすみ学園の中の位置づけでは介護班です。

利用者は二十人ほどの集団なので、運動は体育館で全員一緒に行いますが、室内作業は旧一班の電車前の作業棟と旧万木工舎とに分かれて活動しています。高齢虚弱な方々を中心に構成されたグループなので、理学療法士に月一回来てもらい、身体機能に変化があればアドバイスをもらいながら運動メニューを更新しています。何かあった時に相談できる専門家がいるのは、とても心強いです。一方で、生産性は求めないまでも個々の楽しめる作品づくりをゆっくりと進め、ちぎり絵などは機会に合わせて各所に展示したり、刺繍した布巾や織り物などはネット販売や作品展などで販売もしています。（女性も男性も、ちぎり絵や手芸で個性的な作品をつくり上げているので、どこかで披露したいと思っています。）作業の時間に運動は少し頑張って行い、無理なく手芸を楽しみ、達成感や充実感などの喜びを得られるように続けていくことを皆で確認し、今年度もスタートしたところです。毎日できることを積み重ねながら、また一年間取り組んで参ります。

（統括主任　鈴木　典子）

【石けん班】

季節はめぐって長く続いた感染症対策もひとまず落ち着き、利用者の皆さんも生活のリズムを取り戻しつつある中、令和五年度のいすみ学園が始動しました。今年度は「コロナ前の生活に戻る」を旗印として心機一転、例年以上に身の引き締まる思いでいます。石けん班においては、女性職員が一名増員されました。大変心強い限りです。そんなリニューアルされた新生石けん班も無事にスタートしました。これまではコロナ禍で見合わせを余儀なくされていた各イベントへの出展も予定しているなど、期待を膨らませています。

ところで余談になりますが、皆さんは学園の敷地内にある「夫婦塚」はご存じでしょうか？実は石けん工房のすぐ隣にあるのです。平成十年の調査の結果、学園用地内は何と弥生時代中期後半の「風川遺跡」として指定を受けているそうです。なかなか目に付かないところにあるのですが、夫婦塚周辺において三月の後半に掛けてレンギョウに桃の花、梅にさくらと色とりどりの花が咲き誇り、心弾ませる季節に私たち石けん班を楽しませてくれます。六月になれば、アジサイの色づきも始まってきます。皆さんも機会があれば、ぜひ足を運んでみて下さい。

そして今年度も石けん班は利用者の皆さんへの作業の支援はもちろんのことですが、「生産活動班」であることも掲げています。もしこの先に困難があれば、汚れ落ちに定評のある学園石けんでその汚れを落としていきながら、一歩一歩と石けん班らしく歩みを進めていきたいと思います。この一年間もどうぞよろしくお願い致します。

（支援主任　屋代　精一）

【外作業班】

少し早い桜の開花と、春の暖かな日差しを肌で感じとれる季節を迎えました。

ここ数年はコロナ感染に振り回され、様々な制限の中で新年度を迎えてきま

したが、ようやく当たり前の生活を取り戻しつつ、開放的な新年度のスタートを切ることができ、外作業班一同は期待と意欲を膨らませている次第です。そんな折、外作業班に新規委託事業として新たに、近隣に併設されている工場施設内の除草作業の契約を結び、四月から年間五回の整備を請け負う事になりました。

作業面積一六〇〇坪と想像がつかない程の広大な広さですが、地域社会との関りを大切にしながら長年培った作業技術を発揮し、万木城整備や広域農道の植栽事業と合わせ、地域の皆様から「信頼」される仕事を利用者と共に目指して行きたいと思います。

また、今年度は十月に学園祭も予定していますので、農場での野菜作りにも力を入れ、朝取りした新鮮野菜を並べ、皆様のお越しをお待ちしています。

（統括主任　田邉　清万）

【加工班】

今年も学園の桜は満開となり、いつもと変わらぬ穏やかな春を迎えました。しかし新型コロナ感染症対策の緩和により、私たちの暮らしには少しずつ変化が出てきています。

三月初めには三年ぶりとなる販売会「生き活き展」が開催され、久しぶりのイベント対応に戸惑いながらも、殆どの商品が完売となり大盛況となりました。今年度はさらに多くのイベントが復活して、販売の場が増えることを期待しています。新しい企画も計画中でたくさんの商品を皆様にお届けできることを楽しみにしています。

今年度、食品加工班は職員の退職により新たに一名の新任職員を迎えスタートしました。利用者さんの顔ぶれは相変わらず、みなさん慣れた環境での作業に毎日精を出しています。平均年齢は五十二，六歳。職員は・・・内緒（笑）ですが、決して若くは無いメンバー一同、お互いを補い合いながら毎日力を合わせて元気いっぱい作業に取り組んでいます。今年も仲間と共に元気に働ける喜びと周囲の方々への感謝の気持ちを大切にして、「おいしく楽しく」をモットーにたくさんの商品作りに励みたいと思います。

（支援主任　岩瀬　祐三子）

【グループ実習班】

グループ実習班は今年も「働くことの喜び」を共有できる作業班を目指します。学園内の作業と違い企業に出向いて働く事は、肉体的以上に精神的な負担も利用者さんには多いと思います。

コロナ禍により行動制限が伴い、得た謝礼金を還元することが難しい日々が続きました。しかし社会においては、「コロナに負けない」「コロナと共に生きる」事が浸透しており、学園でも今年度から多くの行動を解除する事になりました。我々もそうですが、働く事には何かしらの意味があると「やる気」が出ると思います。その様に利用者さんにおいても「毎日一生懸命働いたから！」と、思って貰えるような取り組みを考えたいと思います。ここ数年、年度当初の抱負にはコロナに対するマイナス的な事柄が並んでしまいましたが、やっと明るい話題に触れられる事を嬉しくもあります。

笑いあり、涙あり、鮭に感謝をしながら、今年度もがんばりたいと思います。

（統括主任　片岡　彰則）

【生活班】

パート職員三名で成り立つ生活班の仕事内容は、一階本館、新館、二階に分けてローテーションを組んでの棟内清掃になります。

まず各居室の掃除機をかけます。そ

の後はベッドメイク、男性利用者のタンス整理、居室拭き、洗濯、洗濯物を畳み仕分けをしていきます。共用スペースのデイルーム・玄関・脱衣所・洗面所・洗濯室の清掃も行います。棟内清掃の他に体育館・美術館・コスモスの家・職員宿舎の清掃なども行っております。まだ他にも色々な仕事が多くありますが、なかなか細かい所まで手が行き届かないこともあり、大変申し訳なく思っております。

　この自然豊かないすみ学園で利用者の皆さんが気持ち良く学園生活を送れるよう、よりチーム力を高め、三人で協力し、今年度も頑張っていきたいと思います。何かお気づきの点がございましたら遠慮なくお申し出下さい。できるだけご希望に添えるよう努めて参りますので宜しくお願い致します。

（佐藤　幸子）

「いすみ歌の祭典」開催

　去る令和五年二月十二日（日）、いすみ学園交流ホームにて「いすみ歌の祭典」が開催されました。

　作詞、作曲家のたきのえいじ先生から色紙をいただき、ウクライナに向けての楽曲、かとうれいこさんの「あなたに続く道」を利用者さんと一緒に歌ってくれました。

　大木さんの司会で「いすみ歌の祭典」が幕を開けました。第一部は作業班対抗戦です。数ヶ月前から、練習や小道具など、本番に向けて準備を進めて来ました。各班それぞれが持ち味を活かして優勝を目指して熱唱。中には仮装大賞のような班もあり、会場は大爆笑。練習してきた成果を遺憾なく発揮して、見事に優勝を勝ち取ったのは「この広い野原いっぱい」を歌ったグループ実習班でした。

　第二部は歌手の藤森美伊さんの歌謡ショー。素敵な衣装と歌声にうっとり。利用者さんの中には一緒になって笑顔で歌っている方もいました。

　たきのえいじ先生、理事長、施設長からたくさんのお褒めの言葉や励ましの言葉をいただきました。その皆さんの心温まる思いが、歌の祭典を支え、今回も笑顔になり楽しい時間を過ごすことが出来ました。本当に有難うございました。

（支援員　金城　正直）

久しぶりの　僕らはみんな生き活き展

三年ぶりに「僕らはみんな生き活き展」が茂原のアスモで開催されました。なかなかの盛況ぶりでいすみ学園の売り上げも予想以上のものとなりました。途中、他の施設が急遽撤収しなければいけないというハプニングもありましたが、各施設協力し合って無事に成功させました。コロナの影響もあり当初は開催するかどうかも危ぶまれていた「僕らはみんな生き活き展」でしたが、関係施設の熱い要望で開催する方向へ進んでいきました。いすみ学園もその波に乗り準備を進めていきますが、ここで一つ問題が発生しました。年末から年始にかけてコロナの影響で各作業班の作業ができなかったことで、販売する商品の在庫が切れかけていたことです。各班在庫をかき集め、急ピッチで作業を行い、足りない分は機転と閃きで商品を作り上げました。おかげで堂々と販売をすることができました。

今回は三年ぶりとあって課題もありましたが、いすみ学園の皆さん、イベント関係施設の皆さんの協力のおかげで楽しく無事に終えることができました。

（支援員　大木　崇司）

陶芸の先生紹介

陶芸クラブから新しい先生を紹介します。大多喜町で工房・阿弥陀窯（あみだよう）代表の陶芸家井口峰幸（たかゆき）先生です。

愛知県常滑市立陶芸研究所終了。

国立名古屋工業技術研究所特別研究生・青年海外協力隊陶技指導の為ガーナ共和国政府機関技術指導に携る。

一九八八年に大多喜町に窯を構え『大多喜焼』を復活させ千葉県指定伝統工芸品『大多喜焼』を千葉県知事（個人）として指定を受けている方です。

今後の活動として利用者さんの個々の感性を豊かに表現でき、楽しめる憩いの場であるように支援していきます。

（支援員　篠崎　俊克）

井口峰幸先生

図書コーナー

「障害者支援員もやもや日記」松本孝夫著を読んで

この本は七十八歳になる著者が、障がい者のグループホームにて働いてきた八年間の出来事がありのまま描かれていた。綺麗な部分だけでなく、表に出にくいような場面も描かれており共感できる場面も多くあった。例えば、コンビニでの一場面。紙が好きで無料の冊子をいつもならば何冊も持って帰ってしまう利用者が、著者の伝え方の工夫によって二冊だけ持ち帰る事で納得してくれるようになった。支援者目線からは大きな進歩だが、一部の店員からはそんなことは関係なく、迷惑がられるといった出来事である。如何に障害者差別解消法など法が整備されようとも、実際に世間と障害者に携わる人間との間には意識的な乖離があるように思える。知的、精神障がい者はどういう方なのか、どういう対応をするのが正解なのか一目では分からない。私も九年間いすみ学園で働いてきて、その日上手くいった対応も、次の日には効果がないなどザラにある。その為、その日その時で各々判断して支援していかなくてはならない。日々勉強の毎日である。文字数が足りずまとまらないが、初心を思い出させてくれる一冊だった。

（支援員　三神　颯人）

いすみ学園主要行事

新型コロナウイルスの影響で日程が変わることが予想されます。ご了承ください。

4月9日(日)　面会日
5月3日(水)～5日(金)　一時帰宅
6月11日(日)　面会日
16日(金)　ボーナス外出
7月9日(日)　面会日
27日(木)　夏祭り
8月11日(金)～13日(日)　一時帰宅
11日(金)　ケース会議
15日(火)　花火大会
9月17日(日)　面会日（国吉祭礼）
10月8日(日)　面会日
21日(土)　槇の里祭
11月23日(木)～25日(土)　一時帰宅
12月8日(金)　ボーナス外出
10日(日)　面会日
22日(金)　クリスマス忘年会
28日(木)　ケース会議
1月2日(火)～4日(木)　一時帰宅
5日(金)　新年会
2月18日(日)　面会日・歌の祭典
3月10日(日)　面会日

いすみ学園 後援会会員の御寄付 感謝録

令和四年四月から令和五年三月までの間に御寄付を賜りました「後援会会員」の皆様の御芳名を記載させて頂きます。ありがとうございました。紙面の都合上、敬称は略させて頂きます。

・五十嵐正一・石井千賀子・菊地一雄・小川清敏・田中三枝子・銅谷勝子・西山光江・原井清子・原井洋子・南澤恒男・末清節子・高田芳允・土肥真・小田嶋勉・稲葉伸子・飯田香・天野真弓・江幡誠・加林譲・㈱東昭建設社長斉藤晴夫・西村秀美・西村耕世・大塚克行・久保喜平・渡部勇・斉藤津代・会田操・赤嶺淳一・泉富夫・勝俣洋子・北本三千代・志水嘉明・中村好秀・木造育代・小澤育圃・吉田広文・喜屋武隆一郎・中川美津江・市川洋子・落合邦行・牧千代子・三室玲子・伊藤典子・常本一典・佐々木辰雄・北方政實・土田修二・末吉清治・仲佐明宏・会田洋・岩崎陽子・岩崎アイ・中谷利一・飯島せつ子・若月ヒロ子・川端佐知子・遠藤進・森和子・森孝子・中野光夫・花光智恵美・花光英和・高垣千代・森勝・亀山紀子・伊藤明男・大谷光弘・甲斐友美・桐生敏幸・坊垣勝彦・横井葉子・山本和弘・杉山尚浩・鈴村翠・芳賀竹志・水戸部章・栗山尚久・横田ゆうこ・辻祐樹・中西宏仁・高橋昌也・中野達夫・清水孝・高尾美幸・関口達重・高橋茂子・関口いせ・千葉ヨシ・内山浩・小俣光弘・瀬田武久・山樹文子・斉藤恵子・高橋マリ・斉藤絵理子・麻生実・川野和永・苅米與エ門・苅米豊・石井荘司・石井恵美子・関芳弘・長田重孝・長田恵子・黒川信行・中村篤司・杉山恵子・星野健二・永野昌博・斉藤明美・榧下順子・福本聡・愛川久子・尾科弘臣・幸村さち代・中村文子・須田博子・木瀬三佐子・高橋節子・竹田千重子・池田博樹・㈲池田金物店・土渕るり子・土渕精一・小泉眞理子・栗原小絵子・生方里江子・細谷雅子・日柄幸子・細谷光子・石田節子・譜高良子・田中一・重田真幸・佐々木幸雄・戸沢康弘・宿沢修・若林道子・矢澤千里・永江加代子・高澤文子・松島弘美・清水潤二・椣澤里津子・小野英子・木村奈津江・松戸裕子・川名教子・若林謙・沼志賀子・永江保幸・岩橋圭子・岩間美由紀・原田泰隆・若林和子・小林美和・清水弘・清水千代子・高梨寿美枝・清水裕・川本雅巳・清水從子・清水信之・斉藤誠司・猿渡まり子・星野参郎・髙梨悟・小林富次郎・松田美津子・後藤健一・後藤洋子・木野慶治・清水良憲・甘利紀子・岩澤廣元・池田瑞枝・鈴木たま子・後藤明子・平松金三・桐谷佳雄・益田英則・益田美代子・早川恵子・益田和也・今堀亨子・江尻尚樹・江尻恭仁子・江尻全機・吉野恵美子・中村敬・中村ヤエ子・近藤和義・上野梢・岩本菊子・林儀子・米丸啓子・米丸孝・津倉京子・石川隆三・辻村邦雄・白川康子・白川均・和座勝朗・高山純子・和座敬子・富田茂・大原俊二・大原夏子・小野正夫・星芳・大原麻紀子・小泉千寿子・松中研一・松中紀子・松中耕二・小林章子・田澤明男・浅野勝伸・村野主税・権田孝・土井由紀子・山之内玲子・伊藤恵子・篠原学・黒沢秀雄・月岡順子・古屋修・杉本郷・古屋香代子・今井和子・串田正悟・新藤千香子・西澤敦子・豊村幸夫・伊藤幸雄・並木紀子・㈱ビーアイエー・高浦伸芳・塚原光江・實方悦子・松本設備工業有限会社・鈴木光治・今野康子・㈱新清ハイツ・渋木照子・長良幸男・瀧島幸子・原耕一・高山商店・金平輝子・斉藤実・北山静香・中森明子・西内恭子

ふるさと納税

地域の魅力を伝える御礼品として全国に発信

いすみ市は、温暖な気候と肥沃な耕地に恵まれ四季折々の農作物が豊かに実る「田園都市」です。近くの砂浜には毎年アカウミガメが産卵に訪れ、田んぼにはコハクチョウも舞い降りる、自然が豊かな町です。主な産業は農業で、内陸部で米、野菜の生産や畜産などが行われています。漁業は近海に良好な漁場を有し、水揚げ量日本トップクラスを誇るイセエビやタコなど、様々な種類の海の幸が揚がっています。

いすみ学園はそんな自然豊かで風川という地名通り爽やかな風の通る高台に建っています。当学園の食品加工班では千葉県産にこだわり、利用者の方たちと一緒に素材の味を大切にひとつひとつ真心を込めて味噌やジャム、漬物などを作っています。その中でも人気の8品をお礼品としてセットに致しました。

大地のめぐみセット

ふるさと納税は、自分の故郷や応援したい自治体など、好きな自治体を選んで寄付ができる制度のことです。自治体の取り組むまちづくりや復興支援などさまざまな課題に対して、寄付金の使い道を指定できます。手続きをすれば実質自己負担額二千円のみで応援したい地域の名産品や宿泊券などをもらえる、とてもうれしい制度です

まだふるさと納税を始められていない方はこの機会に是非アクセスして、いすみ市と学園を応援してくだされば幸いです。（事務次長　土屋　早苗）

QRコード（さとふる）

よろしくお願いします

藤平由美子

三月よりいすみ学園で勤務させていただいております藤平です。施設での勤務自体初めての経験ですので至らない点が多々あることと思いますが、利用者の皆様が居心地よく、健康で安全・安楽に過ごせるよう微力ながらご支援させていただければと思っております。皆様と向かいあい、接することで日々自分自身も学びを得ながら、鈴木看護師の指導のもと皆様に寄り添える看護と支援をできるよう努めて参りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

藤平　響

今年度から、新しく職員となった藤平です。至らない点がありますが、全力で利用者さん達の生活の支援をしていきます。支援をしていく中で、利用者さん達と信頼関係を深めていけたら幸いです。また、利用者の皆さんが閉塞感を感じることなく、のびのびと日々の生活を心安らかに送ることが出来るよう、先輩職員と一丸となって、生活支援に努めて参りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

秋葉智子

四月よりいすみ学園で勤める事になりました。前職は介護職をしておりました。知的障がい者施設での勤務は初めてです。利用者の皆様が明るく気さくに話かけてくれたり、職員の皆様も時には厳しく、時には優しく教えてくれ、ありがたく思っております。利用者それぞれの特性を理解し、少しでも早く打ち解けていただけるよう努力していきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

小守利江

この度、いすみ学園さくらの家の世話人を務めることになりました小守利江です。

いすみ市の日在に住んでおり、家族は夫、大学生の息子と娘がおります。一昨年に半年間、寮長の補佐として、さくらの家の方々のお世話をしておりました。今回、お辞めになった小島寮長の代わりに世話人として務めますが、分からないことばかりですので教えて頂きたく宜しくお願い致します。ご縁があり、また学園で仕事が出来る事に感謝しております。

お疲れさまでした

鈴木ゆかり

いすみ学園で看護師として約二十二年勤めて参りました。利用者と職員の健康管理、また利用者に寄り添い、日々の生活のお手伝いや、楽しい行事にも参加させて頂きました。沢山の思い出を胸に自分らしく前進して行ければと思います。長い間勤めることができたのは皆様の支えがあったからです。本当にありがとうございました。

遠くからではありますが、皆様のご健勝をお祈り申し上げます。

小島七生

私と利用者五名との生活が始まったのは平成二十五年、キンモクセイの香りが漂う季節でした。騒がしいほどの日常は、私をやる気にさせる原動力となり、何もかもがチャレンジでした。壁にぶつかった時は「ご家族ならこんな時どうするんだろう」といつも考えていた気がします。

満開の桜の季節、この度歴代寮長より受け継いだバトンを渡す時が来ました。長きにわたり「さくらの家」にお力添え下さった数多くの皆様へ心より感謝申し上げます。

感謝録

次の皆様方から、たくさんの御寄附を頂きました。厚く御礼申し上げますと共に、今後とも尚一層の御協力をお願い致します。（順不同　敬称略）

〈寄附物品〉

・松田美知子・㈲松本設備工業・㈱西川・㈲田辺印刷・いすみ農業協同組合・㈲岬サービス・西村浩樹・桜井信子・渡邉電設・㈱新環境設計・小林順子・㈱新清ハイツ・荒木美紀・鶴谷眞理子・藤原由紀・望月隆之・加藤純子・岩切いく子・フィデス㈱・橋詰由紀・岩瀬ラジオ店・内藤京子・瀬田浩久・川西一寿・Rhode dendron・ハーバーコスメティクス㈱・伊藤美恵子・味の素デジタルビジネスパートナー㈱・伯東㈱・千葉ノーミ㈱・玉川衛材㈱・千葉敬愛短期大学・みずほ学園・はると・寄井田陽子・会田美智恵・佐原・大木敏江・ピジョンタヒラ㈱・青木晶子・高椋士門・久川直美・石塚健一・銅谷勝子・池口豊・皆川会計事務所・浜田直子・横山富喜子・西島広典

編集後記

フレッシュな顔ぶれを迎えて令和五年度がスタートしました。

今年度は四月の面会日を皮切りに、ようやくコロナ前の日常を取り戻していく大切な一年となります。利用者の皆さんが彩りのある暮らしを送れるよう職員一丸となってサポートしていきたいと思います。

（さざなみ担当　末吉・土屋・是枝）

題字は 鬼原麗子 さんです。